

ひ ばくろうどうきょ ひ きょうぼうざいふんさい
被曝労働拒否・共謀罪粉碎を

どうろうそうれんごう かんてつ
動労総連合が 3・4—5 スト貫徹

べいかんごうどうぐん じ えんしゅうだんがい ちょうせんかくせんそう そ し ふくしまこうどう
米韓合同軍事演習弾劾！ 朝鮮核戦争阻止！ 3・11 福島行動へ

がつよっ か かいてい たい どうろうそうれんごう ぜんこくとういつ
3 月 4 日の J R ダイヤ改定に対する動労総連合の 3・4—5 全国統一ストライ
キがかちとられた。ストは、2 月 10 日の安倍とトランプの日米首脳会談での史
じょうはつ かくせんせい しようせんげん にちべいあん ぼ たいせい ちょうせん ちゅうごく ひがし かくせんそう
上初の核先制使用宣言と日米安保体制の朝鮮・中国—東アジアでの核戦争、
せ かいせんそう む だいてんかん はつどう がつべいかんごうどうぐん じ えんしゅう につてい じえいたい
世界戦争に向けた大転換、その発動である 3 月米韓合同軍事演習と日帝・自衛隊
さんせんさくどう たいけつ う ぬ どうろうそうれんごう かんこく かくめい はんかく
の参戦策動との対決として打ち抜かれた。動労総連合は韓国における革命と反革
めい げきとつ ちょうせんはんとう ひがし せんそう せつぱく たい こくさいれんたい かか
命の激突と朝鮮半島—東アジアでの戦争の切迫に対し、国際連帯を掲げてスト
ライキに立ち上がったのだ。3・11 郡山に大結集し、戦争・改憲と民営化・労
どうかいあく う くだ あべ たお こくてつけっせん そうけつき
働改悪を打ち砕き安倍を倒す国鉄決戦へのさらなる総決起をかちとろう。

ろうどうしゃ せんそう さいだい ちから
労働者のストライキが戦争とめる最大の力だ

かんこく ろうどうしゃじんみん こう か もんひろ ぼ まんにん けっしゅう たたか がつ
韓国の労働者人民はソウル光化門広場に 100 万人が結集して闘った 2 月
にち じんしゅうそうけつき つづ どりつとうそう きねんび がつつたち れきしてき だい
25 日の民衆総決起に続いて、「独立闘争記念日」の 3 月 1 日にも歴史的な第 18
じ こくみんこうどう かんばん か せいけんこうたい ひつよう
次国民行動をかちとった。「看板を替えただけの政権交代は必要ない」と、パク
クネとファンギョアン（黄教安）、キムギチュン（金淇春）ら軍事独裁政権の
ざんそんぶん し かんぜん だとう いっそう ざいぼつ かいたい ようきゅう こうこう どげいげき
残存分子の完全打倒・一掃、財閥の解体を要求し、「サード（高高度迎撃ミサ
イルシステム）配備撤回、慰安婦野合破棄、韓日軍事協定阻止」を掲げて決起
している。韓国情勢の主導権は労働組合のナショナルセンターである民主労総
きよまん じんしゅう にぎ ちょうせん ひがし せんそうさくどう こんてい ゆ
と巨万の民衆が握り、朝鮮—東アジアでの戦争策動を根底から揺るがしてい

る。

べいかんぐん ちょうせん ひがし しんりやくせんそう ごうどうぐん じ えんしゅう がつついたち や
 米韓軍による朝鮮—東アジア侵略戦争の合同軍事演習は、3月1日から野
 がい き どうえんしゅう ちゅうじゆん せんりよくてんかい
 外機動演習「フォール・イーグル」が、中旬からはコンピューターで戦力展開
 し き えんしゅう はじ げつ きょうこう
 を指揮する演習「キー・リゾルブ」が始まり、2カ月にわたって強行される。
 し じょうさいだい さくねん うわまわ だい き ぼ えんしゅう こんかい かんこくない はいび はん
 史上最大だった昨年をさらに上回る大規模演習であり、今回は韓国内で配備反
 たいうんどう はげ たたか うんよう くんれん ふく きたちょうせん
 対運動が激しく闘われているサード運用の訓練も含まれている。また、北朝鮮
 さいこう し どうしゃ きむじょんうん さつがい ざんしゆさくせん ぐん し せつ
 の最高指導者であるキムジョンウン（金正恩）を殺害する「斬首作戦」と軍施設
 ばくげき はつどう たいせい がつちゆう あんさつ ぶ たい ちょうせんはんとう じょうりく たい き
 への爆撃を発動する態勢をとり、2月中に暗殺部隊を朝鮮半島に上陸、待機
 あき
 させたことも明らかにされている。

べいてい かくへい き せんせいこうげき じ ちょうせんはんとう ちゅうごく しゃてい い
 米帝は、核兵器による先制攻撃も辞さず、朝鮮半島・中国をも射程に入れた
 せんそう ひ がね ひ きたちょうせん だんどう はっしゃじっけん はんじん
 戦争の引き金を引こうとしている。北朝鮮の弾道ミサイル発射実験などの反人
 みてき ぐん じてきたいこう きむじょんなむ さつがい かつこう
 民的な軍事的対抗やキムジョンナム（金正男）殺害などが格好のえじきになっ
 かんこく も あ かくめい ひ け さ さいだい どう き べいてい
 ている。韓国で燃え上がる革命の火を消し去ることが最大の動機である。米帝ト
 しゅうかいだん にちべいあん ぼ どうめい かくあん ぼ どうめい か ふ こ について あ べ
 ランプとの首脳会談で日米安保同盟の「核安保同盟」化に踏み込んだ日帝・安倍
 どうか ぐん じたいこく か けんぽうかいあくこうげき すす
 は、独自の軍事大国化と憲法改悪攻撃を進めようとしている。

たい さくねん がつ みるしゅうそうけっ き たたか どうろう ち ぼ
 これに対して、昨年 11 月の民衆総決起をソウルでともに闘った動労千葉—
 どうろうそうれんごう た あ せんそう はんたい かんこくろうどうしゃみんしゅう れんたい
 動労総連合がストライキで立ち上がった。戦争に反対し韓国労働者民衆に連帯
 かいきゅうてきろうどううんどう ぜったい こんしん
 する階級的労働運動を絶対によみがえらせるのだという渾身（こんしん）の
 けっ き
 決起だ。

J R・カクマル結託体制倒し動労総連合拡大へ

あ べ せいけん せんそう かいけん む こくてつとうそう あっさつ はたら かたかいかく
 安倍政権は、戦争と改憲に向かいながら、国鉄闘争の圧殺と「働き方改革」

という名の労働法制大改悪・労働組合解体を進める。この攻撃の最先端が J R の「第 2 の分割・民営化」攻撃だ。それは、「水平分業」による徹底した分社化と転籍・非正規職化攻撃、公共交通機関としての使命を放棄した地方破壊の攻撃、動労総連合と国鉄闘争の解体を狙う攻撃にほかならない。動労総連合の 3・4—5 ストライキは国鉄決戦の新たな段階への突入を宣言したのだ。

国鉄分割・民営化は大破産した。それは、単にデタラメをやったということではない。動労千葉—動労総連合が、30 年を超えて分割・民営化絶対反対を貫き、外注化阻止・非正規職撤廃の闘いを発展させたからだ。

カクマルというファシスト反革命党派が動労という労働組合を支配して国鉄労働運動の内部から攻撃の手先として登場した。資本や当局にはできない暴力的な襲撃を労働者に加えた。国鉄分割・民営化を推進した 5 年余りで 200 人も国鉄労働者を自殺に追いやったのは、現在の J R 総連を牛耳るカクマルだ。

資本の手先として生き延びたカクマルは 30 年間「国鉄改革の精神と労使共同宣言」を振りかざして、現場から湧き起こる怒りを圧殺し続けてきた。動労千葉労働運動が壊滅すれば自らの大罪を闇に葬ることができるかと権力・資本、体制内勢力に期待した。これを打ち砕いて動労千葉と動労水戸を牽引(けんいん)車に動労総連合が全国に建設された。1047 名解雇撤回の闘いは日本共産党や社会民主党の裏切り和解をのりこえて、国鉄闘争全国運動のもとで力強く再生した。

J R・カクマル結託体制の大崩壊が始まった。動労総連合が J R の青年労働者を大量に獲得し、分割・民営化との攻防に歴史的決着をつける国鉄決戦の新たな幕が開いた。国鉄闘争がつくり出してきた「労働の奪還」論＝マルクス主義で青年を獲得する大攻勢が始まったのである。

あべせいけん こんこっかい せんそう かいけん だいこうげき しんきょうぼうざい そしきはんざいしよぼつ
 安倍政権は今国会で、戦争と改憲の大攻撃として、新共謀罪（組織犯罪処罰
 ほうかいあくあん せいりつ かくめいとうかいたい ねら ち あんだんあつほう こっ かけんりょく
 法改悪案）を成立させようとしている。革命党解体を狙う治安弾圧法だ。国家権力
 が「組織的犯罪集団」とみなしたら、デモもストも労働組合も、レンタカーに一緒
 の そしきてきはんざいしゅうだん ろうどうくみあい いっしょ
 に乗ることや会議に参加することも「犯罪」にデッチあげることができる。その
 けいかく だんかい たいほ
 「計画」段階で逮捕される。

てんのうせい せんそうきょういく もりともがくえん あべしんぞうがくえん
 天皇制・戦争教育の森友学園は安倍晋三学園だ

こうあんけいさつ かんふとうたいほ かたくそうさく かつどう せいかつ ひつよう ぶつびん しりょう おう
 公安警察はこの間不当逮捕と家宅搜索、活動と生活に必要な物品と資料の押
 しゅう ごうだつ たてもの はかい もくてき だんあつ く かい ゆる
 収＝強奪と建物の破壊を目的とした弾圧を繰り返している。まったく許せない
 けんりょくはんざい かんぜんもくひ ひてんこう たたか たいしゅうてき はんげき ふんさい
 権力犯罪だ。完全黙秘・非転向の闘いと大衆的な反撃でことごとく粉碎した
 が、これを じょうたいか きそ ちょうきとうごく ねら しんきょうぼうざい
 常態化して起訴・長期投獄を狙うのが新共謀罪だ。

いよう もりともがくえん つかもとようちえん あべ すがた あべ もりともがくえん
 あまりに異様な森友学園・塚本幼稚園は安倍の姿そのものだ。安倍と森友学園
 かごいけやすのり りじちょう いっしんどうたい あべせいけん きょくうだんたい
 の籠池泰典（かごいけ・やすのり）理事長は一心同体だ。安倍政権は極右団体
 にほんかいぎ うだ あべ にほんかいぎ がっこう てんのうせい はいがい
 「日本会議」によって生み出された。安倍がいて日本会議の学校、天皇制と排外
 しゅぎ せんそうきょういく がっこう もりともがくえん あべ おくえんちか
 主義（ヘイト）・戦争教育の学校、森友学園ができた。安倍がいたから 10 億円近
 こくゆうち どうぜん てい
 い国有地をただ同然で手に入れることができたのだ。

あべ せんそうせいじ けんりょくはんざい ふはい おんしょう げんだい ちあんい じほう しんきょう
 安倍の戦争政治は権力犯罪と腐敗の温床だ。現代の「治安維持法」＝新共
 ぼうざいほうあん かくぎけつてい こっかいていしゅつ そし
 謀罪法案の 3・10 閣議決定、国会提出を阻止しよう。

ひがしにほんだいいしんざい げんぼつじ こ しゅうねん はんげんぼつふくしまこうどう こおりやま
 3・11 東日本大震災・原発事故 6 周年の反原発福島行動（郡山）、3・19
 こくさいれんたい きょうどうこうどうおきなわ けつせいそうかい さんりづかぜんこくそうけつ きしゅうかい せいこう
 「国際連帯・共同行動沖縄」結成総会、3・26 三里塚全国総決起集会を成功さ
 せよう。

ふくしま しょうにこうじょうせん うたが ふく にん じゅうみん きかん
 福島では小児甲状腺がんが疑いも含めて 185 人になった。住民の帰還を

強^{きやうせい}制^{せい}し、J R は「毎^{まい}時^じ 6 5 0 シーベルト」の放射^{ほうしやせん}線^{せん}を放^{はな}つ福^{ふく}島^{しま}原^{げん}発^{ぱつ}に向^むかっ
 て常^{じやうばんせん}磐^{はん}線^{せん}を走^{はし}らせようとしてい^{たい}る。これ^{たい}に對^{どう}し動^{どう}労^{ろう}水^み戸^と・動^{どう}労^{ろう}福^{ふく}島^{しま}が常^{じやうばんせん}磐^{はん}線^{せん}延^{えん}伸^{しん}
 ・開^{かい}通^{つう}阻^そ止^しの闘^{たたか}い^たに立^たち上^あがっ^ひてい^びる。被^ひ曝^{ばく}勞^{ろう}働^{どう}反^{はん}對^{たい}の闘^{たたか}い^{げん}は原^{げん}発^{ぱつ}の地^じ元^{もと}にあ
 る愛^え媛^{ひめ}県^{けん}職^{しよく}勞^{ろう}や京^{きやう}都^と府^ふ職^{しよく}勞^{ろう}舞^{まい}鶴^{づる}支^し部^ぶへと広^{ひろ}がっ^ひた。被^ひ曝^{ばく}と帰^き還^{かん}の強^{きやうせい}制^{せい}反^{はん}對^{たい}
 署^{しよ}名^{めい}」運^{うん}動^{どう}は大^おきな共^{きやう}感^{かん}を呼^よび、避^ひ難^{なん}者^{しや}へ^じの住^{じゆ}宅^{たく}支^し援^{えん}打^うち切^きり^いは「命^{いのち}を奪^うば
 行^{こう}為^いだとして怒^いりが爆^{ばく}発^{はつ}してい^るる。

日^に米^ち安^{あん}保^ぼ同^{どう}盟^{めい}の最^{さい}大^{だい}の实^{じつ}体^{たい}で^{あり}、朝^{ちやう}鮮^{せん}侵^{しん}略^{りやく}戦^{せん}争^{そう}の最^{さい}前^{ぜん}線^{せん}基^き地^ちと^{なる}る沖^{おきな}縄^{なわ}。
 基^き地^ち勞^{ろう}働^{どう}者^{しや}を先^{せん}頭^{とう}と^{した}全^{ぜん}島^{とう}ゼ^おネ^{きな}ス^わトと沖^お縄^{きな}一^{ほん}土^どを貫^{つらぬ}くゼ^おネ^{きな}ス^わト・国^{こく}際^{さい}連^{れん}帯^{たい}
 こ^そ、米^{べい}日^{にち}による朝^{ちやう}鮮^{せん}一^{ひがし}東^{とう}ア^{せん}ジ^{せん}ア^{せん}で^の戦^{せん}争^{そう}=核^{かく}戦^{せん}争^{そう}を阻^そ止^しす^る道^{みち}だ。怒^いり^かのマ
 グ^でマ^{ぐち}が出^も口^{ぐち}を求^{もと}めてい^るる。辺^へ野^の古^こ新^{しん}基^き地^ち建^{けん}設^{せつ}を阻^そ止^しす^る闘^{たたか}い^きは起^き爆^{ばく}剤^{ざい}と^{なる}る。

50 年^{ねん}を^こ超^{さん}え^りる三^{さん}里^り塚^{づか}闘^{とう}争^{そう} (成^{なり}田^{たく}空^{こう}港^{こう}反^{はん}對^{たい}闘^{とう}争^{そう}) は、も^ひう一^くつ空^く港^{こう}を造^{つく}るよ^うな第^{だい}
 3 滑^{かつ}走^{そう}路^ろ建^{けん}設^{せつ}と^{とも}に、祖^そ父^ふか^ら3 代^{だい}1 0 0 年^{ねん}に^わた^り耕^{こう}作^{さく}して^きた市^し東^{とう}孝^{たか}雄^おさ
 ん^の畑^{はたけ}と作^{さぎ}業^{ぎやう}場^ばを国^{こく}家^か暴^{ぼう}力^{りき}で^とり^あげ^る攻^{こう}撃^{げき}と^の重^{じゆう}大^{だい}な決^{けつ}戦^{せん}に^いっ^{はい}てい^るる。
 最^{さい}高^{こう}裁^{さい}は昨^{さく}年^{ねん} 10 月^{がつ}、農^{のう}民^{みん}保^ほ護^ごを^もく^てき^のう^ちほ^うあ^くよ^うし^とう^のう^ち
 を奪^うば^るこ^とを認^みめ^る決^け定^{てい}を^{くだ}した。反^{はん}對^{たい}同^{どう}盟^{めい}と動^{どう}労^{ろう}千^ち葉^えが勞^{ろう}農^{のう}連^{れん}帯^{たい}を固^{かた}めて闘^{たたか}
 っ^てき^た三^{さん}里^り塚^{づか}闘^{とう}争^{そう}は、最^{さい}高^{こう}裁^{さい}決^け定^{てい}を^おか^えの^うち^とあ^はば^{げん}
 地^ち決^{けつ}戦^{せん}本^{ほん}部^ぶは市^し東^{とう}さ^んとス^くラ^のム^のを^じ組^りん^で農^{のう}地^ち強^{ごう}奪^{だつ}を^そし^げ
 ぎ) を飛^とば^してい^るる。

安^あ倍^べと小^こ池^{いけ}は、こ^うれ^らの攻^{こう}撃^{げき}を 20 年^{ねん}東^{とう}京^{きやう}オ^むリ^{きやう}ン^{こう}ピ^きク^{こう}に^向け^て強^{きやう}行^{こう}し^{よう}
 と^{して}い^るる。東^{とう}交^{こう}・都^と勞^{ろう}連^{れん}の団^{だん}結^{けつ}破^は壊^{かい}と戦^{せん}争^{せん}動^{どう}員^{いん}のオ^ぜリ^んピ^きク^ぜに^絶對^{たい}反^{はん}對^{たい}し、
 3 月^{がつ}国^{こく}鉄^{てつ}決^{けつ}戦^{せん}を^とも^に闘^{たたか}っ^て、勞^{ろう}働^{どう}者^{しや}が^いい^きと^闘う^た革^{かく}命^{めい}の^じ代^{だい}を^き切^ひり^開
 う。